

2023年度 総合型選抜 9月募集（横浜受験方式）【課題型】

理工学部 土木・都市防災コース

【課題】

1. 課題

自然災害に対する防災・減災に関するテーマ発表

日本では、近年、多くの自然災害が発生している。例えば、2019年9月の台風15号では、千葉県内で強風による建造物の被害や長期の停電被害が起こった。2020年7月に熊本県で発生した豪雨では、球磨川で大規模な氾濫が発生して浸水被害が生じた。また、2011年東北地方太平洋沖地震以降も、2016年に熊本地震、2018年に北海道胆振東部地震が発生して、大きな被害をもたらしている。

防災・減災は、喫緊の課題であり、自然災害による人命や都市機能への影響をできる限り最小限に抑え、復旧・復興を迅速に進め、今後起こりうる災害に備えることが重要である。このような、自然災害に強い安全安心なまちづくりにおいて、土木工学の果たす役割は大きい。

そこで、最近（5、6年以内に）起こった自然災害を取り上げ、それについての背景や原因、防災や減災への取り組みについて調べ、あなたが理解したことや感じたこと、自分自身の考えをまとめ、その内容を発表してください。参考とする資料は、新聞記事、書籍、インターネット上の資料としますが、インターネット上の資料の場合は、報道記事、行政機関が公表している内容、オンラインで公開している学会誌の論文などを中心に探すようにしてください。また、参考とした資料の出典（インターネット上のは、URLとホームページのタイトル等）を示すようにしてください。

（まとめ方）

以下の点を必ず発表内容に含めて、課題レポートをA4用紙2枚（もしくはA3用紙1枚）にまとめて、出願時に1部提出してください。また、提出書類はコピーをとり、手元に保管してください。

- ・取り上げた災害の背景を理解し、原因や問題点を明らかにする。
- ・取り上げた災害に対する自分なりの解決策、改善策等を明らかにする。
- ・大学入学後に取り組みたいと考えている学業とどう関連するかを明らかにする。

課題レポート指定書式のダウンロードはこちらから [<WORDファイル>](#) [<PDFファイル>](#)

（手書きまたはワープロソフト使用可能）

2. 評価方法

自然災害や防災、減災、土木工学や社会基盤整備等に関する課題について、試験当日に実施するプレゼンテーションおよび質疑と面接の評価、また事前に提出された出願書類・課題レポートの評価を総合して判定します。なお、プレゼンテーションでは、課題に対する原因や問題点の発見能力、解決策や改善策に対する説得性などに関して、事前の調査が十分か、論理的な発表かどうか、質問を理解して的確に回答できているか、などを中心に評価します。

【諸注意】

（1）発表方法

課題のテーマに関して、自分自身でまとめた内容を発表してもらいます。発表時間は1人5分です。発表には、PowerPointを使用してください。発表の際に使用できるのは、ノートパソコン（Windows）、プロジェクターです。ノートパソコンには、PowerPointがインストールされていますので、USBメモリを持参することで、使用可能です。

(2) 質疑と面接

発表に引き続いて、発表内容や課題に対する取り組み姿勢についての質疑を行います。また、志望動機や自己アピールなども述べてもらい、それらに対する質疑も行います。時間は1人15分(発表とあわせて20分)を予定しています。